

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-1	早期医療の充実を図ります
基本計画(施策)	3-1-2	・病気の重症化予防と医療費等の削減

	課	
主管課・係	健康福祉課	健康増進係
	健康福祉課	介護保険係
関係課・係	住民生活課	国保年金係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町民が健康診査、各種検診を受診し、受診後の健康指導により生活習慣病等の重症化予防が図られ、元気で暮らす町民が増えている。</p>				
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①特定健診受診率の向上 ②特定保健指導率の向上 ③重症化予防事業における個別指導率の向上</p>				
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度
		実績値	目標値	実績値	目標値
A	特定健診受診率	%	52.3	60.0	50.3
B	特定保健指導率	%	90.8	90.0	94.7
C	重症化予防事業における個別指導の割合(集団健診)	%	44.1	60.0	89.0
D					
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	▼その理由として考えられること		5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け		
評価			見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	
A	④ 下回った	40代から50代の受診率が低く、併せて女性に比べて男性の受診率が低かったから。	③ 取組改善で達成可能	かかりつけ医と連携した未受診者対策及び町の健診以外の個人健診受診者の結果情報提供及び広報による周知により達成可能と考えます。	
B	② 上回った	指導専従保健師の配置で地区担当制指導全体を進行管理し支援。管理栄養士の採用により、全域の継続指導・指導完了が可能になった。	① 既に目標クリア	指導専従保健師の全域進行管理と、管理栄養士による継続・指導完了が可能となったことにより既に目標をクリアしています。	
C	① 大きく上回った	指導専従保健師による全域の進行管理を実施し、結果通知時の個別配付指導が可能になり、支所への支援も行った。	② このままで達成可能	指導専従保健師による全域の進行管理を実施することにより、このままの体制で達成可能と考えます。	
D					
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの町独自の負担項目に加え、尿中塩分摂取量の検査を追加し、健診内容の充実を図った。 ・管理栄養士を採用したことにより、特定保健指導人員を確保した。さらに栄養士を含め町全域へ栄養指導の介入を図った。 ・国データベースシステムやマルチカーシステムの活用により、対象者の明確化を図り、全域の指導進行管理を実施。 ・個人のデータ及び理解に合わせた適切な資料を活用し、対象者が改善に向けた行動変容・継続ができるよう、保健指導技術向上のための研修会を実施し、個別支援内容の充実を図った。 				
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の受診者において、未受診者は受診・治療開始によりデータの改善が図られ、特定保健指導対象者は指導レベルの改善につながっている。また、治療中コントロール不良者においては、継続した関わりが個人の生活習慣の改善につながり、服薬が中止される程の改善が見られる等、病気があってもコントロールする力を備えた住民が増加した。自ら受診や検査結果の報告に来るなど健康への意識・危機感が向上した住民が増えたと実感する。 				

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より保健指導専従保健師の配置を行い、町全域の進行管理・支援を実施したことで、保健指導数の大幅な増加が実現した。 ・特定保健指導は、保健師のみで実施していたが、平成30年度からは、管理栄養士を新規雇用したことにより、保健師が生活習慣病重症化予防に従事することができ、保健指導数の大幅な増加が実現した。 ・栄養指導においてはこれまで栄養士が2名体制になったことで指導数を増やすことができた。 ・生活習慣病の予防改善に不可欠な「食生活」への介入が図れた大変意味のある指導内容であった。 ・対象者個人の行動変容・継続・データの改善につながったと思われる。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者では、40代50代の無関心層の受診率の低さや、通院中を理由にした未受診者や個人で人間ドックなどの健診を受診している住民がいることから、健康に関心があるにもかかわらず受診率向上につなげられていないことも課題の一つと言える。 ・自覚症状のない生活習慣病に視点を当てた特定健診は、健診結果に異常があっても、結果通知だけでは命に係わるリスクについて気づかず、受診・服薬・行動変容に結びつかないことも多いのも課題である。 ・対象者の優先順位を明確化し、個人のデータに合った個別指導率の増加を図る必要がある。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	健康診査の受診率向上を図りながら、疾病の早期予防、重症化予防のための保健指導により、町民の健康維持・増進を図る。	
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p>	
	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策
	特定健診受診率向上	かかりつけ医と連携した未受診者対策及び町の健診以外の個人健診受診者の結果情報提供を受け、受診率向上を図る。
	特定保健指導率の向上	健診当日に判定できる保健指導対象者に対し、初回指導の分割実施をすることで、仕事の都合などでなかなか会うことの難しい対象者の初回指導を可能にする。
	重症化予防指導率の向上	前年度からの継続指導者については、管理栄養士・栄養士による初回指導を可能とし、保健師は新規指導対象者の指導を増やしていく。
管理栄養士・栄養士による栄養指導率の向上	指導対象者に指導を受ける必要性について、気づいてもらえる効果的な指導技術向上のための研修会を開催。	

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	成人保健事業	健康福祉課	目的	町民の生活習慣病等の疾病予防や健康の保持・増進のため。				
			概要	健康診査、健康教育、家庭訪問等を通し、町民の健康づくりを支援する。				
			成果	各種検診や保健指導等により、町民の健康管理を促すことができた。				
		健康増進係	問題	各種検診や各事業に参加する人が固定化して来ている。				
			対策	各種検診等の周知方法について検討を行う。				
			事業費	26,695	20,915	33,708	26,235	-
02	予防接種事業	健康福祉課	目的	予防接種を受けることにより感染症を予防し、また、そのまん延を防ぐことにより町民の生命と健康を守る。				
			概要	予防接種費用に対する助成。				
			成果	予防接種により感染症の予防、まん延防止が図られた。				
		健康増進係	問題	接種率が低い。				
			対策	対象者への個別通知により予防接種勧奨を行う。				
			事業費	26,496	24,664	33,122	30,914	-
03	結核予防事業	健康福祉課	目的	BCG、胸部レントゲン検査により、結核の予防、早期発見・早期治療につなげることで町民の生命を守る。				
			概要	結核の予防、早期発見のための費用に対する助成。				
			成果	結核の予防、まん延の防止が図られた。				
		健康増進係	問題	BCG接種率の向上、胸部レントゲン検査受診率の向上。				
			対策	対象者への勧奨を行う。				
			事業費	3,404	3,404	3,613	3,613	-
04	胃がん施設検診 (内視鏡)事業	健康福祉課	目的	50歳以上の偶数年齢に該当する方を対象に、胃カメラによる内視鏡検査により、胃がんの予防、早期発見、早期治療につなげ町民の生命を守る。				
			概要	胃がん検診(内視鏡)による予防、早期発見のための費用に対する助成。				
			成果	胃内視鏡検査113名に対して助成実施し、胃がんの早期発見、早期治療が図られた。				
		健康増進係	問題	胃がん検診の受診率の向上を図るため、普及・啓蒙を進め、胃がん検診に対する関心を高めていくよう努める。				
			対策	引き続き、胃がん内視鏡検診の周知、啓発を積極的に行う。				
			事業費	1,405	1,405	1,850	1,850	-
05	がん検診総合支 援事業	健康福祉課	目的	各種がん検診未受診者の方に検診を受診してもらう。				
			概要	各種がん検診未受診者に対し、無料クーポン券による受診勧奨。				
			成果	がん検診を推進することができた。				
		健康増進係	問題	クーポン利用率が低い。				
			対策	引き続き、がん検診の周知啓発を積極的に行う。				
			事業費	429	399	658	624	-
06			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			58,429	50,787	72,951	63,236	-	-